

東京 ELECTROCK STAIRS Vol.5 <新作> 最後にあう、ブルー at こまばアゴラ劇場
2012年 5/10 (木) ~20 (日) 14 ステージ・ロングラン!!

東京ELECTROCK STAIRSはダンスカンパニーです。



PHOTO 「届けて、かいぶつくん」 at シアタートラム

この度行う事になった新作公演はカンパニーとして、初の11日間14ステージに渡るロングランへの挑戦となります。昨年6月にシアタートラムにて初演した「届けて、かいぶつくん」がドイツより招聘され、単独としては初の3都市ツアーを行い、カンパニーとしても成長が肌で感じられた所での新たな挑戦を兼ねたクリエイションとなります。小スペースならではの緊張感と空間を活かした実験的でありながらも確実に響くダンスを観客と作り上げていく所存です。革新的ダンスに是非ともご期待下さい。

お問い合わせ 井上紘美 (Crackersboat) TEL 090-9395-0837 hilomi83@gmail.com

最後にあう、ブルー・公演概要 1

構成・演出/オリジナル音楽 KENTARO!!

出演 高橋幸平 川口真知 横山彰乃 山本しんじ Aokid 高橋萌登 KENTARO!!

■Concept

ライブ感を強く出しながら、普遍的な音楽と実験的かつバリエーション豊富な構成でダンスの面白さを伝えると共に、踊らない、美術やコンセプト重視の作品が多く存在するコンテンポラリーダンスに対し、「単純に踊る」という事の重要性を提示し、様々なスタイルの提示で相互関係を生む事によってダンスシーンの更なる活性化を促します。

■演出内容

終わっていく物事の全てをダンスを通じて、探求しながら表現。男女7人で描く多様なシチュエーションの中に日常のしぐさからストリートダンステクニックまでを幅広く織り混ぜる事で、オリジナリティーのある振り付けを考案、実践する。このカンパニーの特徴でもあるストイックなまでの運動量と身体表現における比喩と物語のバランスの間口を広くし、会場全体で共感できる雰囲気を意識する事で、観ている人それぞれの人生に重なるような部分を探る。情景が浮かぶような照明と空間を活かした音の演出をプラスアルファし、音楽においては電子音楽とアコースティックサウンドを融合させたオリジナルの自作音源と共に新境地を目指す。

■作品 Text

考えたら出来るもの。それを確実に意識した時に、僕たちは始まっていない事に気がつきました。思い出を忘れること。暗く果てのない空を見た時に、私たちは終わっていない事に気がつきました。世界と一緒に変わり続ける色と、かすってもいけない想いが、きっと大好きになる。そんな事をぼんやり考えています。

■キャッチコピー

音楽の雨を今が突き抜ける。ああ、人生よ。ファックしようぜ。

最後にあう、ブルー・公演概要 2

■Time Table (開場は開演の 30 分前／上演時間：約 70 分)

5/10 (木) 20:00
11 (金) 20:00
12 (土) 15:00 / 20:00
13 (日) 15:00
14 (月) 20:00
15 (火) 20:00
16 (水) 15:00 / 20:00
17 (木) 20:00
18 (金) 20:00
19 (土) 15:00 / 20:00
20 (日) 15:00

■Ticket (3/10 発売・全席自由)

前売 2800 円 学生 2500 円 (Crackersboat のみ取扱い) 当日 3000 円 (一般・学生共に)
リピーター 1000 円 (要予約・半券必須)

<Ticket 取扱>

Crackersboat web <http://www.crackersboat.com/>

メール info@crackersboat.com

イープラス <http://eplus.jp/>

■問い合わせ&TEL 予約 info@crackersboat.com 090-3585-7507 (Crackersboat)

■STAFF

舞台監督 森山香織梨

照明 しもだめぐみ

音響 泉田雄太

宣伝美術 Kida yo

宣伝映像 モッチャム

WEB Side mountain

制作 Crackersboat

主催 KENTAROCKERS

提携 (有)アゴラ企画・こまばアゴラ劇場

協賛 TOYOTA 創造空間プロジェクト



純ダンスを前提とした豊富なバリエーションとオリジナル楽曲を駆使して、日常的でありながらも不思議な世界観を作り出す普遍的次世代ダンスカンパニー。ネーミングには東京／日本で活動する意味と向上心、また目指すべき夢と信念がねじ込まれている。2008年12月に「Wピースに雪が降る」@吉祥寺シアターでの本公演にて正式に旗揚げをする。旗揚げ以降、毎年単独公演を行い、これまでに長編4作+短編2作を発表。昨年6月にはシアタートラムにて「届けて、かいぶつくん」、12月には単独としては初のドイツ3都市ツアーを成功させた。とりとめのない想いをダンスに滲ませ<君の胸に届く、そして突き抜ける>をモットーに、今ももっとも勢いがあると思いついで止まない、ダンスカンパニーである。



【カンパニー活動歴】

2008年12月 旗揚げ公演「Wピースに雪が降る」（吉祥寺シアター）

2009年8月 自主企画「対ダン!!」にて短編「Welcome to little×2 Earth」を発表（吉祥寺シアター）

2010年1月 第2回本公演「長い夜のS.N.F」（座・高円寺1）

2010年7月 吾妻橋ダンスクロッシングにて「東京ライク」を発表（アサヒアートスクエア）

2011年1月 第3回本公演「水平線サイコ」（アサヒアートスクエア）

2011年6月 第4回本公演「届けて、かいぶつくん」（シアタートラム）

2011年12月 初の単独ドイツ3都市ツアーを行う「届けて、かいぶつくん」（Tanzhaus、Pumpenhaus、Fabik Potsdom）

KENTARO!! Profile ダンサー/振付家 東京 ELECTROCK STAIRS 主宰

WEB <http://www.kentarock.com/>



1980年10月生まれ。HIPHOP テクニックをベースに、音楽シーンやコンテンポラリーダンス、演劇等に影響を受けた自由な発想を活かし、独自の表現を目指している。その作風は楽しいようで切ないような、普遍性と音楽性に接した物語的ダンスである。近年では自身のオリジナル楽曲を元に作品を作るなど、音楽的な評価も得ている。海外からの招聘も多数あり、今年3月にはインド3都市（デリー、ムンバイ、バンガロール）にてソロ公演を行い、好評を得る。また日本では珍しいソロダンスでのロングランの実行や若手育成企画の立ち上げにも力を注ぎ、更なるアーティストのフックアップも積極的に行っている。2010年度よりセゾン・ジュニアフェロー助成を受け活動中。

【主な受賞歴】

- 1996年 たけしの元気が出るTV「復活ダンス甲子園」2位
- 2001年 NEXT LEVEL DANCE CONTEST 優勝
- 2005年 東京コンペ#2 ダンスバザール大賞「小池博史賞」 受賞
- 2008年 横浜ダンスコレクションR「若手振付家のための在日フランス大使館賞」受賞
トヨタコレオグラフィアワード2008「オーディエンス賞」「ネクステージ特別賞」受賞
- 2010年 2009年度の活動に対して「第4回 日本ダンスフォーラム賞」 受賞

【代表作】

- 東京で会いましょう／初演 2007年 初演@セッションハウス
- 彼方から世界で1つ…／初演 2008年 初演@吉祥寺シアター（日本、ヨーロッパやアジア9都市で上演）
- SADAME no MIKATA wa／初演 2009年@あうるすぽっと（ドイツ3都市で上演）
- 僕はまた今日も未完成の音楽で唄う／初演 2010年@こまばアゴラ劇場（ロングラン11日間14ステージ）
- 雨が降ると晴れる／初演 2011年@セッションハウス（2012年秋にロングランで再演予定）
- 11月のストイックポジティブス／初演 2011年@STスポット（最新作）